





## 観光社会資本の事例

テーマ	みどりと清流のまちひののシンボル「ふれあい橋」(万願寺歩道橋)		
【施設の状況写真】			
			
<p>高幡不動駅と万願寺地区を結ぶ、特徴的な形の吊り橋です。南岸の河川敷は広場として整備され、市民の憩いの場となっています。</p>		<p>日野を代表するビューポイントの一つです。上流方向を眺めると、ほぼ正面に富士山が見えます。薄暮の頃の姿も格別です。</p>	
【施設の利用写真】			
		 <p>大木島自然公園</p> <p>向島用水親水路</p>	
<p>日野の夏の風物詩、浅川サバイバルレースのゴール地点として賑わいます。</p>		<p>南側には向島用水親水路、北側には大木島自然公園など、自然と触れ合える場とも隣接しており、日野散策のシンボリックな存在です。</p>	
【観光資源としての利用状況】			
<p>斜張橋に似た外観を持つスマートな吊り橋で、多くのドラマや映画のロケ地としても使われています。浅川散策の中心になっており、周辺の土手や河川敷は普段から散歩やジョギング、サイクリング等の人々で賑わっています。また、日野の夏の風物詩「浅川サバイバルレース」など、市内のイベントにも多く使われています。橋の南北には大木島自然公園、向島用水親水路など、自然と触れ合う場が整備され、橋の北側に伸びる遊歩道を歩いていくと、平成16年に行われた新選組フェスタ in 日野の会場であり、現在は公園として整備されて市民の憩いの場となっている万願寺中央公園があります。</p>			

テーマ	みどりと清流のまちひののシンボル「ふれあい橋」(万願寺歩道橋)
【社会資本の基礎データ】	
名称	ふれあい橋(正式名称:万願寺歩道橋)
所在地	日野市大字新井
事業名	二番橋整備事業
事業主体	日野市
事業期間	平成元年度～平成3年度
【社会資本の役割・効果】	
<p>日野市内を横断して流れる浅川は、古くから農業用水等に利用され、日野を潤してきましたが、同時に交通の妨げにもなっており、市を南北に分断してしまいました。現在ふれあい橋がかかっている場所は、距離的には京王線高幡不動駅の至近でありながら、駅に出るためには上流の高幡橋か、下流の新井橋を利用することになり、大幅に遠回りをせざるをえず、周囲から取り残される形になっていました。平成3年に架けられたふれあい橋は、歩行者・自転車専用橋で、浅川北岸の市民の通勤・通学の利便性を飛躍的に向上させました。それまでの浅川には無かった特徴的な姿は、日野の代表的なランドマークの一つであり、浅川流域で行われるイベントも、多くがここで行われ、近年では、その優美な姿から、映画やTVドラマ・CM等のロケ地としても人気を集めています。</p>	
【位置図】	
【関連ホームページ】 日野市 <a href="http://www.city.hino.tokyo.jp">http://www.city.hino.tokyo.jp</a> 日野市観光協会 <a href="http://shinsenhino.com">http://shinsenhino.com</a>	